

希望者に認知症の簡易検査を実施 ～総合保健医療センターで実施している人間ドックの機会を活用～

1 目的

全国において認知症の高齢者数は、令和7年(2025年)には約700万人前後になり、65歳以上の高齢者に対する割合は約5人に1人となるとの推計があります(厚生労働省：新オレンジプラン)。また、認知症の割合は、75歳以降で増加していくとの研究報告もあります(平成26年度(2014年度)厚生労働科学研究費補助特別研究事業)。

認知症は早期に発見し治療することで進行抑制ができる場合もあることから、検査を導入し、認知症の予兆の把握や発症、進行予防につなげます。

2 概要

開始時期	令和2年(2020年)4月から
実施場所	春日井市総合保健医療センター
対象者	人間ドックを受診する75歳以上の希望者
検査費用	無料
検査方法	長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)(予定)
所用時間	10分程度
検査内容	問診による認知機能検査 ※この検査は、認知機能の低下について簡易的に検査するもので、認知症の診断を行うものではありません。
その他	検査後のフォローとして、本人や家族への支援が掲載された資料等を提供する。

3 申し込み方法

総合保健医療センターで実施している人間ドックを予約する際に申し込んでください。

4 予算額 令和2年度(2020年度)

3,102千円(人間ドック医療面接に係る人件費を含む)



5 その他

令和2年度(2020年度)の新規事業